

日本薬物動態学会

JSSX
THE JAPANESE SOCIETY
FOR THE STUDY OF XENOBIOTICS

第30回 ワークショップ

外へ向かう薬物動態～臨床、疾患、新しい萌芽技術～

会期 2016年5月12日 木 14:50～18:05

13日 金 9:00～18:05

会場 千里ライフサイエンスセンター

大阪府豊中市新千里東町1-4-2

ワークショップ
代表世話人

矢吹 昌司 (大日本住友製薬株式会社 前臨床研究所)

基調講演

5月12日(木) ————— テーマ1 初期臨床とレギュラトリーサイエンス

非臨床データに基づく臨床試験計画

北里大学病院 臨床試験センター 熊谷 雄治

5月13日(金) ————— テーマ2 疾患に応じた薬物動態戦略①精神神経領域

精神科臨床と薬物動態：現状と課題

弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座 古郡 規雄

————— テーマ3 疾患に応じた薬物動態戦略②がん領域

抗がん薬の臨床薬理と診療の接点

名古屋大学医学部附属病院 化学療法部 安藤 雄一

他、製薬企業、大学、ライフサイエンス企業から合計11演題、ランチョンセミナー

第10回 ショートコース

臨床薬物動態予測を支える最新技術

会期 2016年5月12日 木 9:55～14:30

会場 千里ライフサイエンスセンター

大阪府豊中市新千里東町1-4-2

ショートコース
実行委員長

千葉 雅人 (大鵬薬品工業株式会社 薬物動態研究所)

製薬企業、大学、ライフサイエンス企業から合計8演題

参加登録等の詳細は学会ホームページに随時掲載致します。

<http://www.jssx.org/meeting/ws/ws-now/>

連絡先：日本薬物動態学会 第30回ワークショップ運営事務局
〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原1-8-29 株式会社コネット内
E-Mail: jssx-ws30@conet-cap.jp 担当：藤川

第30回ワークショップ（その他のプログラム）

5月12日（木）

テーマ1 初期臨床とレギュラトリーサイエンス

臨床試験を支えるための非臨床薬物動態試験のあり方

日本製薬工業協会/日本たばこ産業株式会社 倉橋 良一

臨床試験開始前の安全性評価課題（安全域や小児医薬品など）

協和発酵キリン株式会社/日本製薬工業協会 鈴木 睦

EMA薬物相互作用ガイドライン：FDAガイダンスとの違いと
その実際

塩野義製薬株式会社 長谷川博司

5月13日（金）

テーマ2 疾患に応じた薬物動態戦略 ①精神神経領域

脳へのデリバリー戦略

帝京大学 出口 芳春

サルにおける行動評価を指標としたPKPD解析による化合物
の選択

田辺三菱製薬株式会社 仲丸 善喜

中枢作用薬開発における受容体占有率評価の活用

～プローブ探索からトランスレーショナルリサーチへ～

武田薬品工業株式会社 宮本 真紀

テーマ3 疾患に応じた薬物動態戦略 ②がん領域

最近の抗がん剤の承認審査の話題

医薬品医療機器総合機構 井口 豊崇

癌領域における非臨床バイオマーカー探索とその臨床応用に

むけての取り組み

第一三共株式会社 脇田 賢一

抗がん剤の探索薬物動態戦略

大日本住友製薬株式会社 角辻 賢太

テーマ4 薬物動態との融合が期待される新しい技術

細胞内代謝フラックスを実測する。予測する。

大阪大学 松田 史生

創薬への応用を目的とした細胞チップの開発状況

産業技術総合研究所 金森 敏幸

第10回ショートコース（プログラム）

5月12日（木）

ヒト正常小腸上皮細胞培養系でのヒト吸収率の予測

大鵬薬品工業株式会社 武中 徹

ヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞への分化と薬物動態機能評価

名古屋市立大学 岩尾 岳洋

P-gp絶対発現量、単分子輸送活性および蛋白質非結合型分率
の統合によるP-gp基質の脳移行性の再構築とその脳移行性の
種差の要因分析

東北大学 内田 康雄

トランスポーター基質性と脳移行性の種差

—Non-human primate を用いた検討—

大日本住友製薬株式会社 川口 裕子

CYP3A4トランスジェニックマウスを用いたCYP3A4基質の

ヒト肝クリアランスの予測

中外製薬株式会社 三宅 泰司

ヒト肝細胞移植キメラマウスを用いた医薬品のヒトPK予測

広島大学 佐能 正剛

サンドイッチ培養肝細胞における側底膜側および胆管側排泄
の検討とその種差

アステラス製薬株式会社 手塚 和宏

凍結ヒト肝細胞のマトリゲル重層培養による微細胆管様機構
構造形成と肝細胞取り込み型および排泄型トランスポーター

評価への応用

コーニングインターナショナル株式会社 和田 格人

※テーマ及び演者等については予定であり、
変更になる可能性もございますので、予めご了承ください。

5月12日（木）18:30～20:30

懇親会（ワークショップ参加者無料）

於 千里阪急ホテル

ランチョンセミナーについて

※各会場にて昼食をご用意いたします。

ワークショップ 5月13日（金）12:30～13:15（予定）3演題からお選び下さい。

1. 極低用量臨床試験における代謝物の同定 共催：積水メディカル株式会社
2. 代謝物安全性担保におけるヒトマスバランス試験の重要性—社内化合物を事例として— 共催：株式会社新日本科学
3. Hybrid MSに最適なソリューション紹介 共催：サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

ショートコース 5月12日（木）11:50～12:35（予定）共催：株式会社ジェノメンブレン

Why Basolateral Transporters Matter - Their Importance in Predicting Biliary Clearance and Hepatotoxicity

参加費

ワークショップ	会員	18,000円（当日23,000円）
	非会員	28,000円（当日33,000円）
	学生	3,000円（当日5,000円）
ショートコース	会員	12,000円（当日17,000円）
	非会員	20,000円（当日25,000円）
	学生	1,000円（当日3,000円）

ワークショップとショートコース両方に同時参加
登録された方には以下の割引があります。

割引後参加費

会員	27,000円（当日36,000円）
非会員	40,000円（当日50,000円）

カジュアルスタイル（ノーネクタイ）でご参加ください。

会場のご案内

千里ライフサイエンスセンター

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

交通アクセス

- 地下鉄（北大阪急行電鉄）御堂筋線 千里中央行終点「千里中央」駅下車（北出口すぐ）
- 伊丹空港からお越しの方
大阪モノレール 門真市行「千里中央」駅下車（徒歩約5分）
- 関西空港からお越しの方
(1) JR「新大阪」駅から地下鉄 御堂筋線「千里中央」行にお乗り換えください。
(2) 南海電気鉄道「難波」駅から地下鉄御堂筋線「千里中央」行にお乗り換えください。
※ 駐車場のご用意はございません。ご了承ください。

学生会員
先着50名
無料!

